**X-XXX**（発表番号‥‥削除・変更せずに、そのままにしておいてください）

**放線菌における◯◯◯◯◯の解析（タイトル**‥‥**12 pt, Bold）**

○西条 一郎1, 鏡山 花子2（発表者氏名‥‥11 pt，代表発表者に◯印）

（1広島大院・統合生命, 2福井県大院・生物資源）（所属‥‥11 pt）

本研究の目的は、◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯である[1]。◯◯◯の解析は、◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯を用いて行った[2]。◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯。◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯。◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯。

◯◯◯について、◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯を比較したところ、◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯が明らかになった。◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯。◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯。◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯。◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯。◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯、◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯。（日本語フォントはMS明朝、英語フォントにはTimes New Roman‥‥11 pt）

**［文献］（11 pt太字）**

[1] I. Fukui, H. Kagamiyama. *Actinomycetologica* 50:101-110 (2012). (Times New Roman‥‥11 pt)

[2] H. Kagamiyama *et al.* *J. Antibiot.* 97:211-222 (2018).

**Analysis of XXXX for XXXX in actinomycetes (Times New Roman‥‥12 pt)**

○Ichiro Saijo1, Hanako Kagamiyama2 (Times New Roman‥‥11 pt)

(1Grad. Sch. Integr. Sci. Life, Hiroshima Univ., 2 Grad. Sch. Biosci. Biotec., Fukui Pref. Univ.) (Times New Roman‥‥11 pt)

*Streptomyces rochei* 7434AN4 produces two structurally unrelated polyketide antibiotics, lankacidin (LC) and lankamycin (LM), and carries three linear plasmids, pSLA2-L, -M, and -S. The biosynthetic gene clusters for LC and LM are located on the largest linear plasmid pSLA2-L. Their biosynthesis is tightly controlled by signal molecules *Streptomyces rochei* butenolides (SRBs). SRBs are produced by SRB synthase SrrX, and then induce transcriptional activation of an SARP-type activator gene *srrY* through binding to the specific receptor SrrA, which in turn leading to LC and LM production.[1] Here we report XXXX, XXXXXX XXXXXXXXX XXXXX. XXXXXXX, XXXXXXXXXXXXX, XXXXXXXXXXXX. XXXX, XXXXXX XXXXXXXXX XXXXX. XXXXXXX, XXXXXXXXXXXXX, XXXXXXXXXXXX. XXXX, XXXXXX XXXXXXXXX XXXXX. XXXXXXX, XXXXXXXXXXXX.[2] (Times New Roman‥‥11 pt)

**References（11pt, Bold）**

[1] I. Saijo, H. Kagamiyama. *Actinomycetologica* 50:101-110 (2012). (Times New Roman‥‥11 pt)

[2] H. Kagamiyama *et al.* *J. Antibiot.* 97:211-222 (2018).

**● 作成にあたっての留意事項**

* 本ファイルを講演要旨テンプレートとしてお使いください［不要な部分（記入例や留意事項）を削除してください］。
* １ページを超えないよう作成してください。
* 講演要旨には、日本語による要旨に加えて英語による要旨も併記してください。講演要旨テンプレートの上部に日本語要旨を下部に英語要旨を記載してください。
* 英語による講演要旨のみを提出する場合には、専用のテンプレートを利用してください（大会ホームページのEnglishページを参照）。
* 日本語フォントはMS明朝、英語フォントはTimes New Romanを使用してください。
* 所属と要旨本文の間に空白行（改行）を入れてください。
* 所属は省略形で記載してください。
* 必要に応じて、日本語要旨あるいは英語要旨のどちらか一方に図表を入れてください。図表を入れる場合は、英語表記で作成してください（但し、白黒印刷になります）。
* 講演要旨テンプレートの余白、行間などの書式設定は変更しないでください。
* 講演要旨のファイル名は以下のように設定してください（申込状況により発表形式の変更をお願いすることがあります）。
	+ 口頭発表希望「O\_発表者氏名」
	+ ポスター発表希望「P\_発表者氏名」